

「山王中学校生徒指導通信」～「志」が宿り、「いかに生きるか」を考えるために～

## 『命の山王』

No. 3 [2018年 4月27日(金)]

### 「名に負う山王」学校を動かす力とは？

以前から思っていたことですが、山王中校歌の歌詞は実にすっきりとしていて、分かりやすくそれでいて力強さを感じるものです。特に3番とも「われら山王」の連呼で終わる歌詞とメロディーは、一度聞けばすぐに覚えてしまうくらい印象的な曲です。私は山王中出身ではありませんが、中学時代に中総体などで、声高らかに歌う「われら山王」を相手校の応援団の一員として聞いていて、その力強さに圧倒されたのを覚えています。

校歌1番の歌詞は「名に負(お)う山王」で締めくくられています。これは「山王中という学校を背負っている」あるいは「山王中という名前にふさわしい」という意味だと考えることができます。つまり、山王中生に対して、その名にふさわしい人物になってほしいという願いが込められていると、私は考えています。

先日、1年生の音楽の授業で「山王中を背負っている人は誰だと思いますか？」という質問をしてみたところ、生徒会長の名前を挙げる生徒が多くいました。確かに生徒会のメンバーや各種委員会の委員長、各部の部長・キャプテンは、その立場から山王中を背負っていて、全校をリードしていく人たちだと思います。

しかし、それだけではないと思います。先週の春季大会へ向けての全校応援練習で頑張ってくれた6人の応援団幹部も、山王中を動かしてくれたメンバーです。はっきりしたことは分かりませんが、春季大会の前に組織だって全校応援練習が行われたのは、山王中の66年の歴史で初めてのことだと思います。それぞれが山王中を盛り上げるために、自ら声を上げてくれたメンバーです。たった6人でも山王中をプラスの方向に引っ張ることができるということを示してくれたのだと、私は感じていました。

山王中生一人一人が「自分が学校のために何ができるだろう」という考えの下に行動してくれたとしたら、山王中がさらに素晴らしい学校になるのは間違いありません。それは役職や立場を与えられた人たちだけではなく、一人一人の意識のモチようにあると思います。別の言い方をすれば、一人一人の「志」ということになるのかもしれない。

校歌を歌う時に、そんなことを思いながら歌ってくれれば嬉しいです。ちなみに、この生徒指導通信のタイトルは、校歌2番の最後に出てくる「命の山王」ということだと気付いていてくれたでしょうか。

〔生徒指導主事：木内記〕

#### 春季大会について

野球部はすでに大会が始まっていて、見事勝ち進んでいます。多くの運動部は明日から春季大会が始まります。各部ごとに日程や会場が違いますので、連絡をよく確認してほしいです。

また、応援団(文化部、無部、大会がない部活等)は例年であれば全体で応援に行くのですが、今年は試合会場がそれぞれ遠くで行われているので、2・3年生のみでソフトボール部(向浜4面球場)の応援を行います。1年生は学校で、自学や読書をするようになります。よろしくお願いします。

#### 安全な連休を！

4/28(土)が出校日となりますので、その代わりに5/1(火)が振替休業日となります。

また、その後には4連休もあります。連休中、事故や怪我のないように注意してください。

また、休みが続くと生活のペースが緩んでしまって体調を崩す場合もあると思います。体調管理もよろしくお願いします。